

平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年9月5日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL http://www.artgreen.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第3四半期の業績 (平成27年11月1日～平成28年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第3四半期	1,314	3.0	46	△18.1	35	△38.7	25	△26.0
27年10月期第3四半期	1,276	—	56	—	57	—	34	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年10月期第3四半期	23.66		22.75					
27年10月期第3四半期	38.71		—					

- (注) 1. 平成26年10月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年10月期第3四半期の前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社株式は、平成27年12月18日に名古屋証券取引所セントレックス市場に上場しております。平成28年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から平成28年10月期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第3四半期	686	361	52.7
27年10月期	556	247	44.4

(参考) 自己資本 28年10月期第3四半期 361百万円 27年10月期 247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	—	0.00	0.00	0.00
28年10月期	—	—	0.00	—	—
28年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の業績予想 (平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,760	4.4	75	27.7	70	22.1	47	4.1	43.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年10月期3Q	1,120,000株	27年10月期	890,000株
② 期末自己株式数	28年10月期3Q	—株	27年10月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年10月期3Q	1,077,445株	27年10月期3Q	890,000株

(注) 当社は、平成27年8月28日付で、普通株式1株につき400株の株式分割を行っております。平成27年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境が緩やかに改善する一方、個人消費は回復の遅れが続きました。また、欧州の金融不安や新興国経済が減速傾向にあり、海外情勢が不安定であることなどから先行き不透明な状況にあります。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、平成28年5月から平成28年7月までの、蘭鉢取扱金額は1,092百万円、数量では314千鉢と、いずれも前年同期比では微減であったものの、1鉢あたりの平均価格は微増となり、大幅な増減はなく横ばいの傾向にあります。

このような事業環境の中、葬儀の小型化に伴うフューネラル事業とブライダルの婚礼組数が伸び悩んだものの、胡蝶蘭を主力としたフラワービジネス支援事業は新規顧客開拓及び既存顧客への営業強化により、売上は堅調に推移いたしました。一方、人員の増強による人件費の増加や、配送、宅配運賃の高止まりによる荷造運賃の増加があり、また、新規株式公開に伴い、営業外費用として株式公開費用11,771千円が発生いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,314,666千円（前年同期比3.0%増）、営業利益46,700千円（同18.1%減）、経常利益35,140千円（同38.7%減）、四半期純利益25,500千円（同26.0%減）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、異業種支援業務における新規顧客開拓及び既存取引先へのオリジナルのフラワーギフトカタログ作製の提案強化に注力いたしました。

他方、婚礼装花売上は婚礼組数が伸び悩み、前年同期比減収となりました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は858,120千円（前年同期比6.0%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き国内提携農園3社の生産指導強化を行い、品質（商品グレード）及び生産性の向上に重点を置き、経営支援強化に注力いたしました。特に各提携農園における設備の点検を実施し、細かな設備（備品・配置等）を見直し、必要部分の交換を行うことにより、生産ラインの効率性を図りました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は339,025千円（前年同期比3.7%増）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓の営業強化に注力いたしました。

他方、首都圏をはじめとした大都市圏では、家族葬や密葬といった葬儀の小型化が増加傾向にあるため、単価の下落傾向が続いております。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は117,519千円（前年同期比15.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期累計期間における流動資産合計は616,083千円となり、前事業年度末に比べ123,980千円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が10,348千円、商品及び製品が5,051千円、それぞれ減少した一方で、現金及び預金が147,549千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期累計期間における固定資産合計は70,233千円となり、前事業年度末に比べ5,431千円増加しました。この主な要因は、その他にそれぞれ含まれております保険積立金が1,981千円、繰延税金資産が3,609千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期累計期間における流動負債合計は221,749千円となり、前事業年度末に比べ15,579千円減少しました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が19,315千円増加した一方で、買掛金が22,124千円、賞与引当金が5,758千円、その他に含まれております未払金が4,563千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期累計期間における固定負債合計は102,923千円となり、前事業年度末に比べ30,866千円増加しました。この主な要因は、長期借入金が30,866千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期累計期間における純資産合計は361,643千円となり、前事業年度末に比べ114,125千円増加しました。この主な要因は、新規上場による公募増資や第三者割当増資を実施したこと等により資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ44,436千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度10月期の業績予想につきましては、平成28年6月6日に修正発表いたしました業績予想からは変更しておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	175,575	323,124
受取手形及び売掛金	202,405	192,057
商品及び製品	19,153	14,102
仕掛品	75,819	76,940
原材料及び貯蔵品	393	225
その他	21,272	13,017
貸倒引当金	△2,517	△3,384
流動資産合計	492,102	616,083
固定資産		
有形固定資産	8,716	8,428
無形固定資産	3,217	3,025
投資その他の資産		
その他	85,238	87,716
貸倒引当金	△32,370	△28,936
投資その他の資産合計	52,868	58,779
固定資産合計	64,802	70,233
資産合計	556,904	686,317
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,313	48,189
1年内返済予定の長期借入金	86,838	106,153
未払法人税等	7,516	6,658
賞与引当金	10,845	5,086
その他	61,815	55,662
流動負債合計	237,328	221,749
固定負債		
長期借入金	71,917	102,783
その他	140	140
固定負債合計	72,057	102,923
負債合計	309,386	324,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,675	139,111
資本剰余金	44,787	89,223
利益剰余金	107,364	132,865
株主資本合計	246,827	361,200
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	690	443
評価・換算差額等合計	690	443
純資産合計	247,518	361,643
負債純資産合計	556,904	686,317

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
売上高	1,276,023	1,314,666
売上原価	794,353	809,278
売上総利益	481,669	505,387
販売費及び一般管理費	424,673	458,687
営業利益	56,995	46,700
営業外収益		
受取利息	180	129
受取配当金	10	51
保険解約返戻金	1,036	1,349
その他	387	640
営業外収益合計	1,614	2,171
営業外費用		
支払利息	1,278	1,088
株式公開費用	-	11,771
その他	-	871
営業外費用合計	1,278	13,731
経常利益	57,331	35,140
税引前四半期純利益	57,331	35,140
法人税、住民税及び事業税	20,241	10,509
法人税等調整額	2,631	△870
法人税等合計	22,872	9,639
四半期純利益	34,459	25,500

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

当社は、平成27年12月18日付で名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場し、平成27年12月17日を払込期日として、一般募集（ブックビルディングにより募集）による新株式200,000株の発行を行いました。また、平成28年1月22日を払込期日として、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式30,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,436千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が139,111千円、資本準備金が44,436千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。